



互に激励 みんなが輝く 萬歳っ子

学校だより第16号
旭市立萬歳小学校
令和7年1月21日



箱根駅伝から考える人の伸びしろ

お正月に箱根駅伝を見た保護者の方も多いのではないでしょうか。私もその一人です。これからするお話は、子どもたちに始業式でしようかと思っていた箱根駅伝に関する内容です。話し始めると、ある程度の時間を要すること、低学年の子どもたちには、あまりピンとこないかなと考え、しませんでした。しかし、箱根駅伝に出場できることが、どれだけすごいことかわかる高学年や保護者の方にお伝えしたく、ここで触れさせていただきます。

今年の箱根駅伝は、ご存じのとおり青山学院大学が優勝しました。青山学院は原晋監督のもと、11年間で優勝8回と無類の強さを誇っています。今回、駒澤大学や國學院大學も優勝候補に挙げられていましたが、内容的に完勝だったかと思います。青山学院は、全10区間のうち、4年生が6人、3年生が3人、最終区の10区に入った1年生が1人という構成でした。この10区を走り、ゴールテープを切ったのが小河原陽琉（ひかる）選手です。優勝に貢献しただけでなく自らも区間賞を獲得するすばらしい走りでした。

この小河原選手、八千代松陰高校出身で昨年度の全国高校駅伝3位のメンバーの一人ですが、区間賞を獲得するような目立った成績は残していません（3区、区間11位）。さらにさかのぼり、中学時代は、県大会で入賞こそしていますが、全国大会で活躍するような目立った成績をあげていた訳ではありません。

ちなみに現在の青山学院の1年生は、高校時代その年代のトップの選手が何名も入学しています。また、同級生（1年生）に限らず、先輩にも力のある選手が数多くいます。そうした中で小河原選手の活躍は、教職員の代表として子どもに携わる私にとって、心揺さぶられるものがあります。

自分の可能性をどれだけ信じられるか、子どもの可能性をどれだけ信じられるか、私たちは現実と志（夢やそうなりたい（させたい）自分）の間で揺れ動き、葛藤します。現実として、天才的なスキルや身体能力がないとどうにもならないことが、世の中にはたくさんあることはもちろん知っているからです。ただ、だからといって（最初から）諦めていたのでは何事も成し得ないのも事実です。

大切なことは、続けること、そして全力で取り組むこと。他との比較ではなく、あせらず、くさらず、根気強く、粘り強く…。

作物にも早生、中生、晩生とあるように、人も実を結ぶ時期がみんな違います。小学生は、みんながまだ花を咲かせる前の時期…、どんな環境（条件）が、お子さん（子どもたち）にとって大輪の花を咲かせ、大きな実を結ぶのか…、私は様々な機会を与え、（大きく育つ）可能性を広げることが大切だと考え、実践を試みています。そして、子どもたちが「これをやりたいんだっ！」と思えるものに巡り会いことができれば、自らの力で歩みを進めていくはずと信じています。

その結果、人から見れば、大輪の花とは行かず、小さな花に小さな実をつけただけに感じる場合もあるかもしれません。しかし、その花や実自体は本人にとってかけがえのないものですし、花は1度しか咲かない訳ではありません。人は、その人の生き方次第でいくらでも花を咲かせることができるのです。

子どもたちは小学生、1年生と6年生では心身の発達面では大きく違いますが、全員が様々な可能性を大きく秘めている存在です。その子どもたち自身が、自分のやりたいことを見つけ、自分の可能性を信じて努力する…。そんな子どもたちを育てることが大切だと改めて気づかされた小河原選手の力走でした。

避難訓練

1月10日、火災を想定した避難訓練を実施しました。家庭科室からの出火を想定し、防火装置が作動し、延焼を防ぐための防火扉が閉まった状態で、円滑に避難する方法を確認しました。いつもとは違った形でしたが、校庭まで安全に避難することができました。

避難訓練後は、会議室で煙体験を行いました。ほとんど視界がない中を歩くのはとても大変なことがわかりました。また、今回は害のない煙（に見立てたもの）を使っていますが、それでも呼吸がしにくくなる感じがあり、冷静かつ迅速な避難が必要だと痛感しました。

今回の貴重な体験は、旭市消防本部の皆様の協力によって実現しています。旭市消防本部の皆様、ありがとうございました。



校舎からグラウンドへ避難



全員が避難完了です



煙体験…前がほとんど見えません

アクロバットパフォーマンス

1月15日、古城小学校と合同でアクロバットパフォーマンスを鑑賞しました。当日は、古城小にアクロバットパフォーマーのHiro & AGのお二人をお招きして、素晴らしいパフォーマンス披露していただきました。様々な技が繰り広げられる中、子どもたちも私たち教職員も「挑戦する勇気」をもらいました。

Hiroさん、AGさん、楽しく、そして子どもたちのチャレンジを促す見応えあるパフォーマンスをありがとうございました。



五段のパイプ椅子を軽々と



七段のパイプ椅子の上で倒立



23段に挑戦…1回で成功！！

家庭教育学級(ケーキ作り)

1月16日、校内では3回目となる家庭教育学級を実施しました。今回は、洋菓子Chuveの花香さんを講師に迎え、親子でケーキ作りを行いました。生クリームを泡立てたり、イチゴを切ったりと親子で協力して楽しい時間を過ごすことができました。最後にイチゴや各家庭で用意したフルーツをのせ、美味しそうなケーキが完成しました。講師の花香さん、親子で貴重な体験の時間をありがとうございました。



手分けして作業！



協力して泡立ててます



生クリームを塗るのも大変です